

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リズム木曽呂Ⅱ			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年 9月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年 9月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、健康状態や発達 の状況について共通の理解が出来ている。	職員間での毎日のミーティングの中で振り返りで共有を行い、 必要に応じて、保護者様への伝える事やお伺いする内容の確認 をしている。	利用者様記録表を活用し、時間が経った場合でも、いつでも 振り返りができるようにしていく。
2	運動を中心とした活動を取り入れながら集団療育を行ってい る。	ダンスやサーキットトレーニング、またゲーム性を持たせた運 動等、集団としても個としても充実出来るよう活動を提供して いる。	マンネリ化しないように、同じような活動でもアレンジを加 えながら、飽きが来ないよう工夫している。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。ま た、こども達の活動に合わせた空間となっている。	毎日の掃除と片付け、消毒をしっかりと行っている。また活動 に合わせた事前の環境整備を徹底しています。	毎日の清掃の中で、手が届かない場所や物に対して、定期的 に午前中の時間等を利用して清掃をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時や面談以外の保護者様との交流が少ない	デイの活動時の様子を保護者様に見てもらう機会が設け られていない。開催の企画立案、検討が上手く出来ていなかっ た。	保護者参観、保護者交流会を積極的に開催し、保護者様同 士の横のつながりや、職員と保護者様との関係を更に 密にすることでより良い運営に繋げて行く。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会が少ない。	活動を考える中で、機会を設ける意識が低かった。また、おで かけ等で児童館へ行く機会も少なかった。	公園活動を通じて、地域のこども達との交流を図り、おでか け先の候補として、児童館への訪問機会を増やしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リズム木曽呂Ⅱ 放課後等デイサービス

公表日 202510/20

利用児童数

18

回収数

17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	2		・1日4名から7名の職員を配置し、安全に考慮した活動をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	1		・最低限の移動で済むようにしています。外から玄関に入る際、階段になっています。フロア内も小さい段差があります。置いたりしないように手つなぎや見守り、声かけを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0		・定期的に研修を受講し、支援の質の向上に取り組んでまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1		・評価表と共にHPにて最新版を公表いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		・ご本人様や保護者様の意向などを積極的に取り入れて日々の活動に反映させていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0		・様々な「もの」や「こと」を取り入れながら、事業所全体で支援の質をさらにあげていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	6		・直接的な交流の場として設けていませんが、児童館や公園等の活動を通して交流の場を設けて行きます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	1	5		今後、そういったご家族参加の機会がある際は、ご報告させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	3	5		・保護者様のニーズを伺いながら交流の場などを企画していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	1		・お話しをいただいた際には、会社全体で迅速かつ適切に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	3	0	0		・送迎時、連絡帳など活用し、適宜対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	1		・通信などを中心に、活動の内容など視覚的にわかるよう、写真や文章を工夫して充実したものにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2	0	2		・個人情報の取り扱いについてはご契約時に確認いただきました範囲での使用になるよう徹底しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	1	2		・各種対応マニュアルは事業所内に掲示してございます。保護者の方の皆様方にもより分かりやすい周知が出来るよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	4		・定期的な備商品の確認や年2回(5月・10月)の防災避難訓練を施設全体で行なっております。訓練の様子など、通信等でもお知らせしております。ご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		・事故等が発生した際は、マニュアルに沿って迅速に対応、説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0		・全ての利用者様が笑顔で楽しんで通所していただけるよう、これからも支援内容や活動の充実に向け、取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0		・皆様のご意見、リズムとしてできる事を考えながら、今後ともより良い施設づくりを行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リズム木曽呂Ⅱ 放課後等デイサービス		公表日		令和7年10月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・活動内容に応じてデイルームと運動部屋を効率よく活用しています。	利用者様が不穏になった時の落ち着ける場所(部屋)がない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・設定基準上の配置及び加算も出ています。利用者様の状況に応じて適切に職員配置できるよう、日々のそれぞれの役割分担をより明確にして取り組んでまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・室内は段差がない状態であり、今後必要に応じて不都合のある場所については改善していき、注意喚起を見守りをしています。	利用者様が自分で片付けやすい工夫などはもう少しできると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・利用者様が来られる前に事前に部屋のチェックを行い、必要に応じた活動空間を作っています。	机より身長の高い利用者様や身長に対して大きい椅子により転落やしっかり座ることができない利用者様が多い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		職員の人数の関係で許されていない部分がある。逃げ場がないように感じることがある。共用ではない専用の静養室を検討する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		機会を設けられていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・毎月、研修を受講し、支援の質の向上に取り組んでいます。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・定期的にケース会議を行い、利用者様の支援について共有、検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		しっかり説明があるわけではないので全体に共有する時間を設ける。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		アセスメントにするにあたって、氷山モデルシートやストラテジーシートなどを積極的に使用していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・偏ったプログラムにならないよう、日々の活動について意見を出し合っています。同じ活動でも利用者様に合った内容を検討し、対応しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		個別の時間を作ることが難しい。スケジュールも含め検討していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・専用のシートに職員が気付いた点等を記録し、翌日になりますが、職員間で内容の詳細など共有し、支援に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		利用者様自身で選択できる機会をもっと増やしていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		就学前の支援内容等の情報を共有していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		交流をどのようにしていくかを検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・お話をいただいた際には積極的に参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		課題について、保護者様と職員の中で共有を日々行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・必要な事柄については、契約時にご説明をさせていただき、確認を行っています。支援内容につきましては年に2回の面談時やご相談、お問い合わせがあった際に対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者会や参観等の機会を検討し機会を設けていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・お話をいただいた際には、会社全体で迅速かつ適切な対応に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・通信では、活動の内容が視覚的にわかるよう、写真や文章を工夫して充実したものにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		招待する機会を設けていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		実践訓練の機会を増やしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		内容についてより深く検討していく機会を設けていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		支援に対して職員全体でもっと共有をしていく。